



### 第72回さつま産地入札即売会

■9月15日、枕崎水産加工業協同組合の入札会場で開催され、市内21社が出品しました。全国から集まった仲買人らがコンペアーで運ばれてくる鯉節とサバ節に次々と値をつけていきました。



### 行楽シーズンを前に火之神公園を清掃

■9月3日、観光客に気持ちよく観光を楽しんでもらおうと観光協会主催で開催されました。観光協会会員や市民ボランティア約100人が参加し、漂着物のゴミ拾いなどを行いました。



### 婦人防火クラブ大会

■8月27日、市消防本部で行われました。市内4婦人防火クラブから23人が参加し、災害時要援護者に対する手話講習と乳幼児に対する応急処置法訓練が行われました。



### 交通安全を呼びかける

■9月21日から30日までの期間、秋の全国交通安全運動が実施されました。25日の夕方には、鹿児島銀行枕崎支店前の国道で枕崎野球スポーツ少年団の団員がドライバーたちに安全運転を呼びかけました。



### 健康への理解を深める～第39回市民健康教室

9月2日、第39回市民健康教室が市民会館で開催されました。

ステージでは、筋トレサロン生などによる健康体操の披露や恒例の心肺蘇生法コンテスト、南薩3市救急の現状の報告、鹿児島大学大学院教授の郡山千早先生による講演などさまざま催しが行われました。また、会場内では健康相談や健康食の展示などが行われ、来場した約370名は健康への理解を深めていました。



### 寮歌が約25年ぶりに復活～鹿児島水産高校「青雲寮」

鹿児島水産高校の寄宿舎「青雲寮」でかつて歌われていた寮歌が、約25年ぶりに復活し、9月9日に同校で開催された体育祭で披露されました。

寮歌は約30年前に寮生に自信と誇りを持ってもらおうと当時同校の教員だった中山朋之さん(80)が作詞し、作曲は他校の音楽教諭に依頼し完成させたそうです。

当初は毎朝の起床時に流れ、入寮式や卒業式などで歌われていましたが、学校行事では校歌や応援歌などが歌われることが多く、寮歌は次第に歌われなくなりました。「卒業前に何か残したい」と考えていた3年の寮生が寮の面会室に掲示されている歌詞に気づき、寮歌を再び歌えるようにと思い立ったそうです。寮生たちは、舎監長の福留真吾教諭に相談し、同窓会長やOBなどの協力をもらいながら、7月頃から練習を重ねてきました。

9日には、中山さんや協力したOBも駆けつけ、力強く歌う寮生たちの姿を見守りました。中山さんは「感動しました。言葉になりません。涙が出そうですね」と感無量の様子でした。

### 「さつま乙女」が博多で枕崎をPR～第6回うまちか!甲子園

鹿児島水産高校食品工学科2年の女子生徒で結成された、枕崎PR隊「さつま乙女」が、8月に福岡県の博多で行われた「第6回うまちか!甲子園」に出場し、9月25日に水産センターで活動報告会が行われました。

メンバーは(写真左から)岡野好詩さん、俵積田百音さん、駒水琴子さん、下木原すみれさん、新原清佳さんの5名。会場では、枕崎のPRを行いながら昨年料理コンテストで準グランプリを受賞した料理をアレンジした「かつおサクサクminiコロ」などを販売し、カツオの捌き方の実演も行いました。

新原さんは「これからは県内だけでなく、全国にどんどん枕崎をPRしていきたいです」と話していました。

「さつま乙女」は、10月22日開催のまくらざき秋の市でカツオ捌きなどの披露を行う予定です。



### ラオスでの貴重な体験を生かして～第26回県青少年国際協力体験事業

7月23日から8日間の日程で「第26回県青少年国際協力体験事業(派遣国:ラオス人民民主共和国)」が実施され、本市から中村明日香さん(川辺高3年)と上迫華音さん(同)が参加しました。

8月20日には鹿児島市で報告会が行われ、参加した16名とその保護者、OBらが出席しました。ラオスでは、隣近所など人とのつながりを大切にしていることや食事や言葉の違いなどから異文化を理解する大切さを感じたとの報告がありました。ラオスの学校訪問ではけん玉や書道、折り紙などの日本文化を紹介しながら楽しそうに交流している様子が紹介されました。

また、8月25日には市教育委員会を訪れ、丸山屋敏教育長に報告を行いました。



中村明日香さん(写真左手前) 上迫華音さん(写真左)

### ほっとホット フォトコンコース



試合



演技競技

### なぎなたの技を競う～第51回九州なぎなた大会

第51回九州なぎなた大会が、総合体育館で開催されました。大会には九州・沖縄から18チームの選手や関係者約140名が参加。演技競技、個人試合、団体試合の3種目でそれぞれの技を競いました。

### 第75回国民体育大会「燃ゆる感動がごしま国体」枕崎市では「なぎなた」競技を開催



### 燃ゆる感動がごしま国体

第75回国民体育大会 熱い鼓動 風は南から 2020

平成32年第75回国民体育大会及び第20回全国障害者スポーツ大会の開催地が「鹿児島県」に決定しました。同大会の愛称は「燃ゆる感動がごしま国体」。「熱い鼓動 風は南から」のスローガンのもと熱戦が繰り広げられます。

県内各地で79競技(特別競技、公開競技、デモンストラレーションスポーツ含む)が開催され、本市では正式競技の「なぎなた」競技が市総合体育館で開催されます。

大会期間 平成32年10月3日～13日

■問合せ 保健体育課 TEL72-0170

